

まん いち \ 万が一のとき / じぶん み じぶん 自分の身を自分でまもろう！

地震のときは

じしん たいふう ごうごう ごうせつ つなみ ふんか かじ けいけん
 地震、台風、豪雨・豪雪、津波・噴火、火事、これまでに経験したことがない
 さいがい なに お お つ たいおう
 災害など、何が起きても、落ち着いて、対応しよう！

まずは

きょうしつ こうしゃない
教室・校舎内

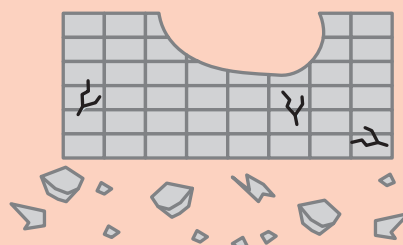
グラッきたら 身の安全



お 落ちてこない！ たお 倒れてこない！

つうじゅうおくがい
通塾屋外

ちか 近づかない！ かわ 川べり かね 堀際 せま 狭い路地



ちゅうい 注意！ ぐず がけ崩れ、山崩れ



つぎに

でぐち どうそう かくほ
出口、逃走ルートの確保



あわてて外に飛び出さない
ちゅうい
落下物や、倒れやすいものに注意



ひ で
火が出たら
すばや しょきしょうか
素早く初期消火



おしえ

ただ じょうほう
正しい情報をつかもう
おお ごじょうほう で
(多くの誤情報が出る)



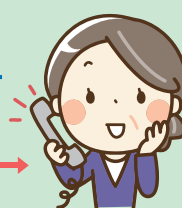
じぜん そうだん
(事前に相談した)
かぞく れんらくほうほう かくにん
家族との連絡方法で確認



さいがいようでんごん
災害用伝言ダイヤル
りよう
(171) を利用して連絡をとろう

さいがいようでんごん
災害用伝言
ダイヤルセンター

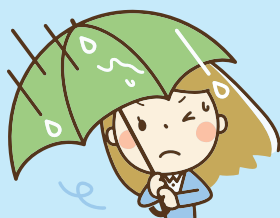
171



じしん
地震のときは
つなみじょうほう
津波情報にも
ちゅうい
注意！

台風 たいふう のときは 豪雨 ごうう ・ 豪雪 ごうせつ のときは

きょうしつ こうしゃ
むやみに教室・校舎の
そと で
外に出ない



かえ しゅだん かくじつ かくほ
帰りの手段を確実に確保、
かぞく れんらく
家族と連絡をとって



きょうしつ こうしゃ せんせい しじ したが きょうりよく じぶん み まも
 教室・校舎の先生の指示に従って、協力して自分の身を守ろう！

ぼうさい ころえ じょう
防災の心得 10カ条

1

じぶん み あんぜん
まず、自分の身の安全を
だいいち み あんぜん かくほ らっかぶつ ちゅうい
第一に身の安全を確保しよう。落下物に注意。

2

だっしゅつこう かくほ
脱出口を確保
まど すこ あけ でぐち かくほ
ドアや窓を少し開けて、出口を確保

3

ひ しまつ
すばやく、火の始末
だんぼうきぐ かくじつ しょうか
暖房器具などを確実に消火

4

ひ しょうか
火がでたら消火
きょうりょく しょくしょうか
みんなで協力して、あわてずに初期消火

5

そと に
外に逃げるときはあわてずに
かんばん らっかぶつ き
ガラスや看板などの落下物に気をつける

6

へい ちゅうい
塀に注意
へい もんぼしら じどうはんばいき たお ちゅうい
ブロック塀、門柱、自動販売機など倒れやすいものには注意

7

がけくず つなみ ちゅうい
崖崩れや津波に注意
さんかんぶ えんがんぶ かぎ ゆる ちばん はや ひなんたいせい ととの
山間部・沿岸部に限らず、緩い地盤のところは早めに避難体制を整える

8

ひなん とほ にもつ さいしょうげん
避難は徒歩で 荷物は最小限
してい ひなんばしょ とほ ひなん
指定された避難場所へ徒歩で避難

9

きょうりょく あ おうきゅうきゅうご
みんなが協力し合って応急救護
きんじょ ひと こえ きょうりょく あ たす
近所の人と、声をかけ、協力し合ってみんなで助けあおう

10

ただ じょうほうにゆうしゅ
正しい情報入手
ただ じょうほう かくにん うわさ
テレビやラジオで正しい情報を確認。デマや噂にふりまわされない。
じょうほう かくにん かぞく れんらく さいゆうせん
ツイッターやフェイスブック、ラインなどの情報は確認を。家族との連絡を最優先に。

ぼうさい てび さいがい し そな
防災の手引き ～いろんな災害を知って備えよう～

しゅしょうかんでい（ないかくかんぼうないかくこうほうしつ） うき
首相官邸（内閣官房内閣広報室）のページは、右記 QR より

